

平成30年度

課題提案募集

機能検証フェーズ、産学共同フェーズ、企業主導フェーズ

シーズ候補の可能性検証から実用化開発まで



募集締切

平成30年

5月15日(火)
正午

募集締切

平成30年

5月10日(木)
正午

募集締切

平成30年

6月8日(金)
正午

機能検証フェーズ

(旧・地域産学バリュープログラム)
試験研究タイプ

- ・研究開発費：～300万円
(間接経費含む)
- ・研究開発期間：原則1年
- ・申請者：大学等の研究者

大学等の研究成果が企業ニーズ
(企業の抱える技術的課題)の
解決に資するかどうか確認する
ための試験研究を支援
(グラント)

試験研究タイプ第2回および
実証研究タイプ(1,000万円)の
公募は平成30年7月頃を予定

産学共同フェーズ

(旧・ステージII)
シーズ育成タイプ

- ・研究開発費：2,000万円～5億円
(間接経費含む)
- ・研究開発期間：2～6年
- ・申請者：企業と大学等の研究者
(共同申請)

大学等の研究成果に基づく技術
シーズ*の可能性検証及び実用性
検証を行い、中核技術の構築を
目指す産学共同の研究開発を支援
(マッチングファンド)

企業主導フェーズ

(旧・ステージIII)
NexTEP-Bタイプ

- ・研究開発費：～3億円
(間接経費含む)
- ・研究開発期間：最長5年
- ・申請者：企業 資本金10億円以下
(シーズ所有者の了承が必要)

研究開発型企業による、大学等の
研究成果に基づく技術シーズ*の
実用化開発を支援
(マッチングファンド、実施料納付)

NexTEP-Aタイプ

通年公募

※シーズとは、特許(出願中のものも含む)等の知的財産を指します。

詳しくは、各フェーズの
ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)のご紹介

マッチング



大学等の
技術シーズ



企業ニーズ



技術的な課題を自社だけでは解決できない。
産学共同研究の連携先を探している。

マッチングはしたものの、共同研究開発の初期段階は
資金投入の判断が難しい…

そんな皆様！



公的資金制度を活用してみませんか。

研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)は、
大学・公的研究機関等発技術シーズの実用化を目指し、
産学共同で取り組むプロジェクトを支援します。

※下記支援タイプの構成は平成30年4月時点。

フェーズ	機能検証 (旧・地域産学ハループプログラム)		産学共同 (旧・ステージII)	企業主導 (旧・ステージIII)	
支援タイプ	試験研究	実証研究	シーズ育成	NexTEP-B	NexTEP-A
支援対象	大学等シーズが 企業ニーズの 解決に資するか どうか確認する ための試験研究 を支援	企業との共同 研究に進むため に必要な実証的 な研究を支援	大学等の研究成果に基づく 技術シーズの可能性検証 及び実用性検証を行い、 中核技術の構築を目指す 産学共同の研究開発を支援	研究開発型企業による 大学等の研究成果に 基づく技術シーズの 実用化開発を支援	企業ニーズを踏まえた 企業による大学等の 研究成果に基づく技術 シーズの実用化開発を 支援
申請者	大学等の研究者		企業と大学等の研究者 (共同申請) プロジェクトリーダーは企業	企業 ※NexTEP-Bタイプは資本金10億円以下	
募集分野	テーマの設定はなし。但し、医療分野は対象外。				
特許の要否	必要なし		応募時に、特許（出願中でも可）等の知的財産が必要		
研究開発費 (JST支出総額。 間接経費含む)	～300万円	～1,000万円	2,000万円～5億円	～3億円	1億円～15億円
研究開発期間	原則1年		2～6年	最長5年	最長10年
経費の種類	グラント		マッチングファンド	マッチングファンド 実施料納付	開発成功時 ：全額年賦返済 開発不成功時 ：10%返済 実施料納付

シーズ発掘・可能性検証

シーズの
実用性検証

実証試験・量産化

制度利用のメリット



- ✓ 公的資金を研究開発費として利用できる。
- ✓ 研究開発フェーズがどの段階でも申請できる。
また複数の支援タイプを継続して利用することにより(注)、長期にわたる研究開発の実施が可能。
- ✓ 企業・大学等の専門家による、
推進状況に応じたアドバイスを受けられる。



効果的・効率的に
研究開発が進められる

(注) 上位フェーズへの移行(複数の支援タイプの利用)
にあたっては、新規公募にご応募いただく必要があります。